

PRESS RELEASE

株式会社H2 Innovation、インド9大学と水素発電システム 「ZEEP24」の実証・研究開発に向けMOU締結

— AIデータセンターの急拡大を背景に、再生可能エネルギー × 水素による
次世代電力インフラ構築へ —

2026年8月20日

株式会社H2 Innovation

インド・タミル・ナドゥ州9大学とMOUを締結

株式会社H2 Innovation（本社：北海道札幌市、代表取締役：森 陽介）は、2026年8月8日から8月17日までインド・タミル・ナドゥ州を訪問し、チェンナイ周辺を中心とする9つの大学・高等教育機関との間で、水素発電システム「ZEEP24」の実証機導入、技術提携および共同研究開発に向けたMOU（基本合意書）を締結しました。

今回のMOUは、大学に小型の水素発電実証システムを導入し、学生・研究者による実証研究、人材育成、技術開発を推進するとともに、将来的な大型水素発電システムの社会実装につなげることを目的としています。

9大学から始まる「研究・実証・社会実装」

今回MOUを締結した大学・教育機関は以下の9校です。

- ANNA UNIVERSITY
- PSNA COLLEGE OF ENGINEERING AND TECHNOLOGY
- Kongu Engineering College
- THE GANDHIGRAM RURAL INSTITUTE
- KIT – KALAI GNARAKARUNANIDHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY
- KIOT – Knowledge Institute of Technology
- Saveetha Engineering College
- J.K.K. MUNIRAJAH GROUP OF INSTITUTE
- DHARMAPURAM ADHINAM ARTS COLLEGE

今後、インド政府が推進するグリーン水素政策・支援制度のもと、補助金等の採択・資金確保が整った大学から順次発注へ移行し、受注後約6～8か月を目安として実証機を納品する計画です。

インドでは今後、AI・クラウド需要の急拡大を背景として、GAFAMをはじめとする世界的大手テクノロジー企業による大規模なAIデータセンター投資が見込まれています。

一方、AIデータセンターには24時間365日の安定した大容量電力が不可欠です。太陽光発電や風力発電を大規模に導入した場合でも、夜間、曇天、無風時などには発電量が低下するため、再生可能エネルギーだけでは安定供給が難しいという課題があります。

そこで注目されているのが、

再生可能エネルギー + BESS（短期蓄電） + 水素発電システム（長期・大容量エネルギー貯蔵）

というハイブリッド型電力インフラです。

短時間の需給調整や瞬時応答をBESSが担い、長時間・大容量のエネルギー貯蔵を水素が担うことで、AIデータセンターなど24時間稼働施設への安定したクリーン電力供給を目指します。

大学での実証から、インドの大型産業プロジェクトへ

今回のインド滞在期間中、H2 Innovationは大学との連携だけでなく、**30社以上の企業・関係機関との面談・協議**を行いました。

その中でも、インドの大手建設会社**URC社**とは、AIデータセンター等への導入を想定した**1MW～5MW規模／拠点の水素発電システム**について具体的な検討を開始しました。

さらに、インド国内での需要拡大を見据え、H2 Innovationの技術・主要機器とインドの製造・施工能力を組み合わせ、**水素発電システムの現地組立・製造体制構築に向けた協議**も開始しています。

また、**SWMS社**とは、現在ゴミ処理施設等から生成されているバイオガス（メタン）を活用し、CPCL（Chennai Petroleum Corporation Limited）向けに高純度水素を供給する構想について協議を進めています。

その実現に向け、バイオガス由来メタンを水蒸気改質する**SMR（Steam Methane Reforming）設備**についても検討依頼を受けています。

さらに、**PROSUN社**からは大型水素生成システムについての検討依頼を受けており、発電だけでなく「水素をつくる・貯める・使う」という一連の水素エネルギーサプライチェーン構築に向けた事業展開を進めています。

大学での研究・実証から、AIデータセンター、建設、石油精製、廃棄物・バイオガス、再生可能エネルギーへ――。

今回のインド訪問を契機として、H2 Innovationは「大学での研究開発」と「産業界での社会実装」を結びつける日印グリーン水素エコシステムの構築を目指します。

日本とインドから、次世代の水素エネルギー社会へ

インドでは、急速な経済成長、AIデータセンターの増加、電力需要の拡大と同時に、脱炭素化という大きな課題への対応が求められています。

株式会社H2 Innovationは、こうしたインドでの喫緊のエネルギー課題に対し、水素発電システム「ZEEP24」を通じて解決策を提供するとともに、今回MOUを締結した9大学との共同研究・実証を積極的に推進してまいります。

大学の研究者・学生と日本の水素技術、そしてインド企業の製造・施工能力を結びつけることによって、現在のシステムをさらに進化させ、インドから世界へ展開できる次世代水素発電システムの構築を目指します。

H2 Innovationは今後も、日本とインドの産学連携を通じて、グリーン水素の研究開発、人材育成、製造、社会実装を推進し、世界のカーボンニュートラルと持続可能なエネルギー社会の実現に尽力してまいります。

【会社概要・お問い合わせ先】

株式会社H2 Innovation

代表取締役 森 陽介

〒060-0041

北海道札幌市中央区大通東2丁目8-5

プレジデント札幌ビル1001号室

TEL：080-3482-0816

E-mail：mori@h2-innovation.com

<https://h2-innovation.com/>